



第 43 号
平成27年3月31日 発行
発行
埼玉県立がんセンター
発行責任者
病院長
田中 洋一

基本“唯惜命”
理念

私達は生命の尊厳と倫理を重んじ、十分な医療情報提供と患者さんの自己決定権を尊重し博愛と奉仕の精神で医療を行います。

目次

- 手術室の紹介～安心・安全な手術医療を目指して～…………… 1
- がん幹細胞の克服に向けた新規薬剤の開発／第5回埼玉県民がんサイエンス・サロン…………… 2
- 医療安全推進月間の取り組みを4年継続して／
「第39回埼玉県民のための“がんの集い”」を開催しました…………… 3
- こんにちは！みどりの図書室です…………… 4



埼玉県のマスコット コバトン

手術室の紹介 安心・安全な手術医療を目指して



手術室看護師長
鈴木 理子

手術室師長の鈴木です。手術医療の中心となる手術室は、新病院の開院とともに生まれ変わり、従来の7室から12室にパワーアップいたしました。

高度・専門的な手術医療を提供するために、現在の手術医療の主流となりつつある、内視鏡手術に適した専用室を3室擁し、ロボット手術（da Vinci Siサージカルシステム）も導入いたしました。全手術件数も伸びており、前年度の手術件数は2942件でしたが、今年度は2796件（1月31日現在）となっており、前年度を上回る見込みです。

また、安心・安全な手術医療を行うために、世界基準である「WHO手術安全チェックリスト」を3つのタイミングで行っています。手術にかかわるチーム全員でチェックするところがポイントで、患者さんもチームの一員として参加していただいています。

私たち看護チームも安心・安全について取り組んでおり、手術室看護師は、手術予定の患者さん全員と手術前面接を行っています。手術前で不安なこともたくさんあると思いますが、どうぞなんでもお聞かせ下さい。

少しでも安心して手術室に入るために、どうしたらいいか一緒に考えてまいります。もちろん全身麻酔で眠っているあいだも、私たちはそばにいて常に安全に気を配っています。



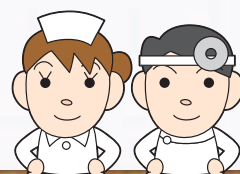
ダ・ヴィンチでの
手術の様子



内視鏡専用室での
手術の様子



内視鏡手術支援ロボット
「ダ・ヴィンチ」
インテュイティヴ・サージカル社
da Vinci Si Surgical System



がん幹細胞の克服に向けた新規薬剤の開発

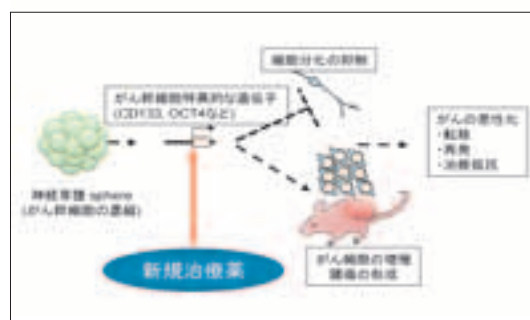
がんの転移や再発は、がんの悪性化と直結しますが、近年その原因に「がん幹細胞」という細胞の存在が示唆されています。がん幹細胞は、がんの中に少数存在して治療に抵抗して生き残り、転移を引き起こすと考えられています。このことから、この生き残ったがん幹細胞は、がんの悪性化の原因となっているといえます。

がん幹細胞を見つける目印（マーカー）は、いくつか報告されていますが、組織やがん種によって異なっています。我々はこれまでに、小児固形がんである神経芽腫において、幹細胞マーカーの一つ CD133 が発現しており、CD133 は細胞内のシグナル経路を変化させることで、がん細胞を未分化に保つことで、悪性度の高いものにすることを見出しました。さらに神経芽腫のがん幹細胞において、CD133 が高発現するメカニズムを明らかにしました。さらに、がん幹細胞に特異的な遺伝子 CD133 の発現機構を調べると、iPS 細胞の作成にも重要な OCT4 などの遺伝子が同様に誘導されてくることを明らかにしました。

したがって、このがん幹細胞の誘導・維持に関わる機構を止めることが出来れば、悪性ながんの克服に繋がることが予想されます。そこで我々は、これまでに明らかにした遺伝子の発現機構を阻害する物質を探索する新しいプロジェクトを開始しました。これらを実際に薬として提供できるまでには多くの困難が予想されますが、これまで克服が難しかった悪性のがんに対する治療法の開発につなげる重要な一歩となると考え、研究を進めていきたいと考えています。



臨床腫瘍研究所
竹信 尚典



がん幹細胞特異的な遺伝子の解析と治療薬の開発



埼玉県民がんサイエンス・サロン

2月7日（土）がんセンター研究棟において、第5回埼玉県民がんサイエンス・サロン「学ぼう！がんができるしくみ/見よう！がん細胞とDNA」を開催しました。

近年、がん研究はますます専門性を深めており、研究内容を県民の方々に正しくかつ円滑に理解していただく活動が求められています。がんの科学面について、研究者が話題を提供し、県民と共に討論し、理解を深めることを目的に、実習や講演によるがんサイエンス・サロンを企画しました。

当日は 51 名の参加をいただきました。田中病院長の挨拶で始まり、牛島俊和・国立がん研究センター研究所エピゲノム解析分野長に「がんができるしくみとエピゲノム」と題して最新の知見を交えたご講演をいただきました。実習では顕微鏡によるがん細胞の観察、およびDNAの観察を行いました。グループごとに研究員を交えて「がん」について様々な意見交換や質疑応答も活発に行われました。研究所見学では、DNA 配列を解析している研究室や機器を見学しました。本サロンを通じて「がん」を科学することに触れ、がんの解明が一步一步進んでいることを実感していただけたと思います。（がんサイエンス・サロン実行委員 臨床腫瘍研究所 角 純子）



第5回 埼玉県民がんサイエンスサロン 平成27年2月7日

医療安全推進月間の取り組みを4年継続して

厚生労働省は平成 13 年度から 11 月 25 日（いい医療に向かってGO）を含む **前後 1 週間を医療安全推進週間** とし、患者さんの安全を守るための医療関係者の共同行動を推進しています。埼玉県立 4 病院では、平成 23 年度から **11 月の 1 ヶ月を医療安全推進月間** として、「緑のシール」「3 Words=3つの言葉」「県立病院共通の医療安全のポスター」などを共通にして取り組んでいます。

がんセンターでは、平成 23 年度から「3つの言葉」を導入しました。病院で働く医療関係者や委託職員と共同し、各部署で患者安全のための3つの言葉をカードにし1枚の写真にしました。今年は 59 部署 58 枚の各部署それぞれの思いの3つの言葉が集まりました。写真は、1 階放射線診断協の廊下に掲示しました。患者・家族の皆様も足を止めて見ていただき、投票にも参加していただきました。表彰状や感謝状を委託職員の方々も含め 13 部署に贈らせていただきました。新病院になり掲示板を利用し、スライドショーを導入、1 階まで降りて来ることができない患者さん用に写真ファイルを病棟に設置しました。4 年継続して実施したことで、交流・対話・連携へとつながったのではないかと実感しています。

（医療安全管理委員会）



今年度の「3Words」1 階放射線診断（13番）廊下に掲示した



新病院になり、各部署の「3 Words=3つの言葉」58枚を 1 階～2 階の待合コーナー 6 カ所にスライドショーの形式で流した

第 39 回 埼玉県民のための“がんの集い”を開催しました

平成 27 年 1 月 17 日（土）に、「第 39 回 埼玉県民のための“がんの集い”」を、さいたま市のソニックシティ国際会議室（定員 220 名）にて開催しました。本年度の総合テーマは、「長寿社会とがん診療」です。



第 1 部 講演「長寿の時代—二毛作の人生設計—」

厚労省の事務次官等、数々の要職を歴任し、現在も埼玉県立大学の理事長として精力的にご活躍されている江利川毅（えりかわたけし）先生から、多彩な統計データを織り交ぜながら、長寿社会をどのように生きるかについてお話しいただきました。

第 2 部 パネルディスカッション「高齢者のがん診療」

がんセンターの医師、看護師及び東松山市のシャローム病院病院長の鋤柄稔（すきがらみのる）先生が、それぞれの立場から見た「高齢者のがん診療」について、専門的な用語をできる限り省き、県民の皆様にはわかりやすく配慮した説明を行いました。

当日は、210 名もの県民の皆様にご参加いただき、最後まで熱心に耳を傾けていただきました。当日ご来場頂いた県民の皆様のおかげで、実りある集いとなったことをご報告いたします。

（がんの集い実行委員会）



「がんセンターだより 第40号」で紹介させていただいた「患者さんのための医療情報コーナー」が、「**みどりの図書館**」に名称を変更いたしました。新しい名前は、外来診療のエリアカラーである「自然・生命力をイメージする緑色」から考案しました。

外来診療のエリアカラーのキーワードは「自然・調和」で、モチーフは「樹木」となっており、同じように治療の一環の

場として患者さんやそのご家族などが穏やかに過ごせる空間にしました。

みどりの図書館は、がんに関する医学書をおいており、患者さんやご家族の方へがんに関するさまざまな情報を提供し病気(がん)に対して正しい理解を深め、治療に役立てていただくことを目的としております。

開館時間 月～金 9:00～17:00
休館 土日・国民の休日・年末年始および図書館長の定めの日
貸出 図書のみ3冊まで 期間1週間 雑誌の貸し出しはしていません
★はじめての貸出を希望される方は手続きが必要です。ご住所を確認できるもの(免許証など)をお持ちください。



最近受け入れた図書のご案内

- ★『「血液のがん」と言われたら…：検査診断治療・手術(お医者さんの話がよくわかるから安心できる)』 小澤敬也, 翁家国 2014年
- ★『患者さんが安心できる検査説明ガイドブック』 2014年
- ★『膵がん 改訂3版 (インフォームドコンセントのための図説シリーズ)』 2013年
- ★『脳腫瘍 (インフォームドコンセントのための図説シリーズ)』 2013年
- ★『前立腺がん 自分の生活に合った治療を選ぶ 別冊NHKきょうの健康』 2014年
- ★『はじめての乳がん 働くあなたが聞きたい本音Q&A83』 土屋美樹 濱岡剛 2014年
- ★『がん患者のリハビリテーション: リスク管理とゴール設定』 宮越浩一 2013年
- ★『医者からもらった薬がわかる本 2014-2015年版』 2014年
- ★『患者さんのための大腸癌治療ガイドライン 2014年版』 2014年
- ★『がん患者さんのための国がん東病院(国立がん研究センター東病院)レシピ』 2013年
- ★『がん治療中の食事: がん専門医とシェフが届ける心躍100のグルメなレシピ』 2014年



など…